

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2019-62002 (P2019-62002A)

【公開日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2017-183405 (P2017-183405)

【国際特許分類】

H 0 1 F 17/00 (2006.01)

H 0 1 F 27/29 (2006.01)

H 0 1 F 17/04 (2006.01)

H 0 1 F 41/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 17/00 A

H 0 1 F 15/10 C

H 0 1 F 17/04 F

H 0 1 F 41/04 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 23 日 (2020.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 3】

【表 1】

表1							
実施例・比較例							
配線エリア	長手方向長さX	μm	900	900	900	900	900
	前後方向長さY	μm	400	400	400	400	400
	X/Y比率	-	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
配線	幅w	μm	85	85	85	85	85
	w <sup>2</sup>	μm <sup>2</sup>	7225	7225	7225	7225	7225
第1電極	短辺SS1	μm	100	50	100	100	80
	長辺LS1	μm	400	400	250	400	80
	平面積S1(=SS1×LS1)	μm <sup>2</sup>	40000	20000	25000	40000	6400
第2電極	短辺SS2	μm	100	50	100	100	80
	長辺LS2	μm	400	400	250	400	80
	平面積S2(=SS2×LS2)	μm <sup>2</sup>	40000	20000	25000	40000	6400
長手方向に投影したときの第1電極と第2電極との重複長さ		μm	400	400	100	400	0
第1電極と磁性層との間隔IN		μm	0.15	0.14	0.17	0.06	0.15
評価	第1電極と第2電極との抵抗R1／第1バンブと第2バンブとの抵抗R2×100	%	4	8	7	4	26
	第1バンブと磁性層との間の短絡	-	○	○	○	△	○

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 13】

図13

